２０２６年９月

弊所 駒谷剛志弁理士が AIPPI IP & GRTK 委員会ウェビナーに登壇

― WIPO GRATK 条約・DSI 交渉・カリ基金の関係を論じる国際ウェビナーで総括を担当 ―

弁理士 駒谷剛志が、2026 年 9 月 14 日に開催された **AIPPI IP and GRTK 委員会ウェビナー** において、同委員会の副委員長としてクロージング・リマークス（総括）を担当いたしましたので、ご報告いたします。

開催概要

日時：2026 年 9 月 14 日　14:00〜15:00（中欧夏時間）

形式：オンライン

主催：AIPPI IP and GRTK（知的財産と遺伝資源・伝統的知識）委員会

テーマ：How do the WIPO Treaty on Genetic Resources and Traditional Knowledge, Digital Sequence Information (DSI) negotiations under the CBD, and the Cali Fund fit together?

登壇者

Opening remarks：Karen Abraham 氏（Shearn Delamore & Co., マレーシア）

Moderator：Ana Claudia Mamede Carneiro 氏（Dannemann Siemsen, ブラジル）

Speakers：Anselmo Azevedo dos Santos 氏（FuturaGene／Suzano, ブラジル）、Mariana González 氏（Basham, Ringe y Correa, メキシコ）、Grega Kumer 氏（IFPMA, スイス）、鈴木 睦昭 氏（国立遺伝学研究所, 日本）

Closing remarks：駒谷 剛志（高島国際特許事務所／神戸大学, 日本）

議論の内容

本ウェビナーでは、2024 年に WIPO で採択された遺伝資源及び遺伝資源に関連する伝統的知識に関する条約（WIPO GRATK 条約）、生物多様性条約（CBD）の下で進むデジタル配列情報（DSI）の利益配分交渉、そして 2024 年に設置が決まったカリ基金という 3 つの枠組みが、相互にどのように接続するのかが、各国・各セクターの視点から論じられました。駒谷は、AIPPI IP・GRTK 常設委員会 副委員長として、議論の総括を行いました。

参考リンク

AIPPI ウェビナー案内ページ：https://www.aippi.org/event/genetic-resources-traditional/